

理科・算数だいすき実験教室を開催しました！

7月23日(土)、早稲田大学高等学院で、理科・算数だいすき実験教室が開催されました。この実験教室は、早稲田大学高等学院協力のもと、子どもたちの理科・算数離れを解消し、理科・算数が好きと言える子どもたちを育てることを目的としています。

当日は、およそ150組の親子が参加しました。参加した子どもたちは、自分たちで組み立てた橋を渡ったり、化石を磨いて顕微鏡で観察するなど、普段学校では行わないような実験に目を輝かせていました。

実験教室開催後のアンケートでは、「親子で参加できてよかった」「とても分かりやすかった」「また参加したい」などの声がありました。

実験内容の一部を紹介します

スライムと人工イクラ ～液体から固体への変化を楽しもう～

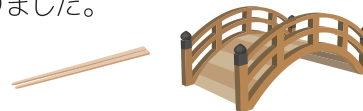


- 洗濯のり、ホウ砂の濃い水溶液、墨汁、白絵具を使ってスライムを作りました。完成したスライムをモデルとして、火山の形を学びました。
- アルギン酸ナトリウム、塩化カルシウム水溶液、色を付けるための絵の具などを使って、マイクロカプセル(人工イクラ)を作りました。

レオナルドの橋 ～レオナルド・ダ・ヴィンチが設計した橋を作って渡ろう～



割り箸を使って、レオナルド・ダ・ヴィンチが設計した、釘のいらぬ橋のミニチュアを作りました。ミニチュアを作成後、人が渡れる大きさの橋を作成し、実際に渡りました。



線の世界 ～直線と曲線で遊ぼう～



紙に工夫して線を描くことで、不思議なことや本質的なことに気づき、今までと違う角度から、線の世界を楽しみました。また、直線と曲線を使ったゲームを行い、ゲームのルールをどのように設定するとより楽しめるかを探求しました。

コハクを知ろう ～若いコハクをみがいて化石になった虫を見つけよう～



数万～百万年前の若いコハクを磨き、顕微鏡を使って中にある昆虫を観察しました。昆虫はデジタルカメラで記録し、磨いたコハクを持ち帰りました。



◆教育企画課 042-420-2822

パナマ大使が本町小学校に来校しました！

本町小学校では、子どもたちが歴史・文化を知り、多様なものの見方ができるようになることや、視野を広げること、表現力・コミュニケーション能力を育成することを目的に、パナマ共和国との国際交流活動を行っています。

7月に国際交流体験として、パナマ大使館のカルロス・ペレ駐日大使が本町小学校に来校しました。交流会では、子どもたちが作成した図工交流作品の紹介や日本の授業、学校行事、給食等の学校生活の様子を紹介する出し物を披露しました。大使からもパナマの生活の様子等について、紹介していただきました。実際に大使から話を伺うことで、子どもたちが国際文化の多様性を学ぶ良い機会になりました。



交流会の様子



児童の出し物
「日本の給食の紹介」



教育長とパナマ大使

◆教育企画課 042-420-2822

中学校巡回ピアノ公演が実施されました！

東京田無ロータリークラブが主催する、中学校巡回ピアノ公演が実施されました。この事業は、3年をかけて全市立中学校で実施される予定となっており、今年度はひばりが丘中学校、田無第三中学校、青嵐中学校の3校で実施されました。ピアニストの佐藤恵美さんの演奏では、バッハのメヌエットやモーツァルトのトルコ行進曲などの名曲が奏でられました。実際にピアノ公演を聴いた生徒からは、「聴いていて、すごく心に響いた」「衝撃を受けて、もっと音楽が好きになった」といった声がありました。



公演の様子

◆教育指導課 042-420-2827

あ
い
さ
し
で
安
心
の
街
育
て
よ
う